

## 1. 規約

## ①趣旨

当財団が目指す「科学技術創造立国の基盤となる理数教育の更なる振興」と、教育基本法が示す教育の目的・目標の達成を目指すにあたり、学校教育の専門家が一同に会し、理数科目を中心とする学校教育の観点から教育全般をめぐる諸課題について研究・協議・発信を行う。当会を、外部有識者を委員とするシンクタンク「東京懇談会」とする。

## ②所掌事項

- ・文部科学省，中央教育審議会の動向調査と，その分析及び具現化に向けての研究
- ・教育委員会，学校が直面している課題についての調査・分析及び解決に向けての研究
- ・東京都における教育施策の分析及び具現化に向けての研究

## ・主な議題案

教育全般：中教審の動向，教育委員会制度の在り方等

人材育成：教員養成・採用・研修の在り方等

学習状況：教員の授業実践状況等，実態調査アンケート内容の討議・結果の協議

教科書関連：教科書の検定・採択制度における課題，教科書に期待する内容等

## ③運営

## 1) 懇談会

- ・懇談会は原則年2回実施し，課題に応じて，講師講演（文部科学省，都教育庁幹部職員，区市教育長，教職大学院教授など）も随時行い，調査研究を進めていく。
- ・懇談会での協議を踏まえ，その課題や検討を広く発信していく。
- ・懇談会の下部組織として調査研究部会を設置し，科学的根拠（エビデンス）に基づいた調査研究を行い，そのデータの公開と分液結果の提言を行う。

大江 近 座長：元早稲田大学教職大学院客員教授

生形 章 委員：秀明大学学校教師学部教授

岩永 章 委員：早稲田大学教職大学院客員教授

栗原 宏 成 委員：帝京大学人文社会学部教授

佐藤 浩 委員：日本体育大学スポーツマネジメント学部教授

新庄 恵 子 委員：有明教育芸術短期大学子ども教育学科教授

中島 豊 委員：前品川区教育長



## 2) 調査研究部会

- ・主に学校経営や学級経営，教員の指導状況の実態調査（アンケート）を行い，その調査結果及び分析を懇談会に具申する。
- ・分析結果については，Rimse広報誌，研究紀要やHPを通じて発信する。
- ・特に，実態調査にご協力を頂いた区市町村教育委員会，校長会，研究部会等に対しては，当該調査の結果及び分析を適宜報告し，課題解決，改善の一助となるよう貢献する。

小口祐一部長：茨城大学教育学部教授（算数・数学教育，統計）

小西康文委員：茨城大学全学教育機構准教授（理科教育，統計）

野村幸代委員：高知大学教育学部教授（英語教育）

- ・なお，実態調査（アンケート）の監修としてお二人の先生のご協力を頂いた。

尾崎春樹先生：目白学園理事長，元国立教育政策研究所所長

根岸 均先生：秋田大学横手分校長，元秋田県教育長